

内視鏡関連機器（耳鼻科）

貸借契約仕様書

沖縄県立中部病院

調達物品及び構成内訳

耳鼻咽喉内視鏡ビデオシステム 2式

(内訳)

1. 光源一体型ビデオシステムセンター (特殊光対応) 1台
2. 光源一体型ビデオシステムセンター 1台
3. 4 K液晶モニター 1台
4. モービルワークステーション 2台
5. ハイビジョン画像記録装置 1台
6. 耳鼻咽喉内視鏡高画質ビデオスコープ 2本
7. 耳鼻咽喉内視鏡細径ビデオスコープ 2本
8. 耳鼻咽喉内視鏡処置用ビデオスコープ 2本

機能及び性能

- 1 光源一体型ビデオシステムセンター（特殊光対応）
 - 1.1 光源一体型ビデオシステムセンター（特殊光対応）は以下の要件を満たすこと。
 - 1.1.1 高輝度光源装置とビデオシステムセンターが一体型であること。
 - 1.1.2 光源はLED光源を搭載していること。
 - 1.1.3 先端湾曲ビデオスコープ、硬性ビデオスコープ、軟性ビデオスコープ及び3CCD/3CMOSのカメラヘッドを同一のシステムにて制御可能であること。
 - 1.1.4 映像出力端子は、Sビデオ、HD-SDI、3G-SDI、DVIを有していること。
 - 1.1.5 狭帯域光観察（NBI観察）機能を有していること。
- 2 光源一体型ビデオシステムセンター
 - 2.1 光源一体型ビデオシステムセンターは以下の要件を満たすこと。
 - 2.1.1 高輝度光源装置とビデオシステムセンターが一体型であること。
 - 2.1.2 光源はLED光源を搭載していること。
 - 2.1.3 軟性ビデオスコープ及びカメラヘッドを同一のシステムにて制御可能であること。
 - 2.1.4 映像出力端子は、Y/C、HD-SDI、DVIを有していること。
- 3 4K液晶モニター
 - 3.1 4K液晶モニターは以下の要件を満たすこと。
 - 3.1.1 3840×2160ピクセルの解像度を有していること。
 - 3.1.2 HDMI、DVI、SDI信号をそれぞれ1系統以上保有していること。
 - 3.1.3 医用電気機器規格に適合するように設計されていること。
 - 3.1.4 モニター重量は10kg以下であること。
- 4 モービルワークステーション
 - 4.1 モービルワークステーションは以下の要件を満たすこと。
 - 4.1.1 モニターアームと組み合わせることで、モニターの角度を調整可能であること。

と。

4.1.2 フロントハンドルとリアハンドルが各2個ずつ搭載されており移動可能であること。

4.1.3 絶縁トランスを有すること。

5 ハイビジョン画像記録装置

5.1 ハイビジョン画像記録装置は以下の要件を満たすこと。

5.1.1 内視鏡システムと接続することにより、内視鏡画像を録画できること。

5.1.2 3G/HD/SD-SDIの入力が可能であること。

5.1.3 DVDやブルーレイディスクに書き出し可能であること。

5.1.4 医療用であること。

6 耳鼻咽喉内視鏡高画質ビデオスコープ

6.1 耳鼻咽喉内視鏡高画質ビデオスコープは以下の要件を満たすこと。

6.1.1 高性能なCCDの採用により高精細なHD画像が出力可能であること。

6.1.2 110° という広視野角を有し、広範囲の観察が可能であること。

6.1.3 観察深度は5mm以上、50 mm以下であること。

6.1.4 有効長は300mmであること。

6.1.5 先端部外径は3.9mm以下であること。

6.1.6 軟性部外径は3.6mm以下であること。

6.1.7 スコープ湾曲部は上下各130度曲げることが可能であること。

6.1.8 狭帯域光観察機能を搭載していること。

7 耳鼻咽喉内視鏡細径ビデオスコープ

7.1 耳鼻咽喉内視鏡細径ビデオスコープは以下の要件を満たすこと。

7.1.1 高性能なCCDの採用により高精細な画像が出力可能であること。

7.1.2 90° という広視野角を有し、広範囲の観察が可能であること。

7.1.3 観察深度は3.5mm以上、50 mm以下であること。

7.1.4 有効長は300mmであること。

7.1.5 先端部外径は2.6mm以下であること。

7.1.6 軟性部外径は2.9mm以下であること。

7.1.7 スコープ湾曲部は上下各130度曲げることが可能であること。

7.1.8 狭帯域光観察機能を搭載していること。

8 耳鼻咽喉内視鏡処置用ビデオスコープ

8.1 耳鼻咽喉内視鏡処置用ビデオスコープは以下の要件を満たすこと。

- 8.1.1 2.0mmの処置用チャンネルを有していること。
- 8.1.2 90° という広視野角を有し、広範囲の観察が可能であること。
- 8.1.3 観察深度は2mm以上、50 mm以下であること。
- 8.1.4 有効長は365mmであること。
- 8.1.5 先端部外径は4.8mm以下であること。
- 8.1.6 軟性部外径は4.9mm以下であること。
- 8.1.7 スコープ湾曲部は上下各130度以上、右左各70度曲げることが可能であること。
- 8.1.8 狭帯域光観察機能を搭載していること。

以上